

令和3年度教育事業  
 全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」  
 中部ブロック 地方ステージ  
 「地域探究アワード in 能登」

1 趣旨

- ・各自が行った実践活動について発表するプレゼンテーション活動を通して、まとめる力や表現力を養うとともに、他者の発表や自身の発表への講評を聞くことで、新たな気づきや学びの機会とする。
- ・出場者が提出した報告書およびプレゼンテーションについて審査し、全国ステージに出場する代表者を選出する。

2 日程

- (1) 期 日 令和4年1月10日(月・祝)  
 (2) 出場者 グループ部門8組(24名)、個人部門8名 計32名  
 (3) 研修内容

① 日程

時 間	事 項	備 考
8:15~8:30	現地集合・受付	
8:30~9:30	プレゼンテーション投影チェック等	
9:30~9:50	開会式・ガイダンス	
9:50~10:50	プレゼンテーション審査①	1回15分×3発表
11:00~12:00	プレゼンテーション審査②	1回15分×3発表
12:00~13:30	昼食・休憩	
13:00~14:00	プレゼンテーション審査③	1回15分×2発表
14:00~14:50	審査員審議・振り返り	
15:10~15:40	結果発表・講評	
15:40~15:50	閉会式	
16:00	解散	

② 審査方法

書面審査(審査会前)およびプレゼンテーション審査における得点を基に行う。

ア 書面審査(事前に実施)

事前に提出された報告書に記載された内容を基に審査を行う。

グループ部門出場者については、グループ構成員個々人の得点をもとに算出した平均値をグループの得点とする。

イ プレゼンテーション審査(発表7分、質疑応答8分 計15分)

構成、表現力等に加え、質疑応答を含めて総合的に審査を行う。

グループ部門出場者については、全員で1発表として採点する。

③ 評価委員

【グループ部門】	日本司法支援センター	理事長	板東	久美子
【グループ部門】	金沢星稜大学人間科学部	教授	池田	幸應
【グループ部門】	国立能登青少年交流の家	所長	佐藤	博之
【個人部門】	国立青少年教育振興機構	理事	松永	賢誕
【個人部門】	石川県立鹿島少年自然の家	館長	藤澤	浩
【個人部門】	国立能登青少年交流の家	次長	濱名	和久

### 3 成果と課題

#### (1) 実践活動から地方ステージまでの参加者の学びについて（参加者のアンケートより）

##### ① 「実践活動」について

- ・自分が大きく成長できた活動となった。企画する側として立ち、出店依頼をしたり、要項を作成したりと、人生で初めてで、なかなかできない貴重な経験となった。自分のこれからの人生で必ず役に立ち、自信の源になると思う。
- ・実際にやることで、大変さや難しさを知ることができた。
- ・課題が多すぎて悩むところがたくさんあった。インターネットでさらに情報を知っていきたい。

##### ② 「実践活動報告書」作成について

- ・自分たちが作成したものを先生方からの意見も取り入れながら修正していくことで、よりよい報告書が作成できた。他の人の意見を聞くことで違う見方ができ、面白いものとなった。
- ・報告書を作ったのは初めてで、まとめるのに苦労した。文字数が多いものに慣れていなかったなので、仕上げるまでに時間がかかったが、納得のいくものになった。

##### ③ 「地域探究アワード in 能登」について

- ・多くのグループの発表を聞いて「なるほど」と思えるような発見があり、おもしろいと思った。
- ・たくさんの人がいる前で発表するのはとても緊張して声も震えたが、最後までやりきることができてよかった。とてもよい経験になった。
- ・出場できなかったのは悔しかったが、他の人の話を聞いて自分に足りないことや改善点を調べていこうと思った。いい体験になった。（出場者ではない参観者の生徒の記述）



【発表の様子】

#### (2) 成果と課題（運営面）

##### ① 成果

- ・昨年度よりも出場者が増え、グループ部門 8 組・個人部門 8 名のエントリーとなった。2 会場でそれぞれの審査を行うことで、1 日でも円滑に運営を行うことができた。
- ・各委員が全発表者に対して分担して講評を行う形をとり、参加者はそれぞれの視点からフィードバックを受けることができた。

##### ② 課題

- ・審査の中で、質疑は評価委員に限定されている。会場の高校生や参観者からのコメント等についても発表者に伝えられるような手立てを検討したい。
- ・グループ部門で、各グループの生徒間の連携がとれていないと思われるグループがあり、グループ内での連携の大切さについて周知が必要である。